



2022 (令和4) 年 **新年号** No.49

会報

シルバー伊豆の国

賀正



「北条家ゆかりの里」

写真提供：伊豆の国市

自主・自立・共働・共助

公益社団法人 伊豆の国市シルバー人材センター

〒410-2211 伊豆の国市長岡338番地の3

TEL 055-948-9526 FAX 055-948-9682

ホームページ <http://www.sjc.ne.jp/izunokuni/>



QRコードを使って携帯・スマートフォンでホームページを見てください。

新年のごあいさつ



理事長
橋本 五十夫



新年あけましておめでとうでございます。会員の皆様にはお健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素から当センターの運営にご協力をいただき、感謝申し上げます。

また、センター運営を支えています役員と事務所職員のご尽力をはじめ、市民の皆様や地域企業、行政の関係者の絶大なるご支援に厚くお礼申し上げます。

昨年はコロナウイルス感染症拡大という不安の中、期待された東京オリンピックが開催され、暮には南アフリカからの新たな変異株が発生のニュースも加わり、複雑な一年であ

りました。

会員の皆様方におかれましては、感染症の猛威はまだまだ予断を許さない状況にありますので、くれぐれも体調維持にご留意いただき、ますますのご健勝を祈念申し上げます。

さて、シルバー人材センターが地域に密着した就業機会を促進することにより、会員が社会参加を通じて地域貢献できるだけではなく、本人の生きがいの充実や健康の保持増進にもつながります。しかしながらコロナ禍の影響による入会者数の減少や会員年齢層の上昇、免許返納等により就業場所へ行けないなどの課題が散見しています。このような社会が不安である時こそ、「自主・自立・共働・共助」のシルバー人材センターの精神が発揮されます。

当シルバーの昨年十月末時点の契約金額は、コロナ感染症により営業の休止等で前年より下まわって二・九三%減、目標額三億円の達成には厳しい状況になっています。また、受

注件数・就業延人員も下まわり、会員在籍数も五〇九名となり十九名減になりました。これは、七十歳までの高齢者雇用安定法によるものですが、いずれも厳しい状況でありました。

現況下、財政を含め、業務運営は厳しいものがありますが、今後も会員の就業機会の拡大・開拓や会員の増強に向け、役員職員が一体となつて取り組んでまいりますので、会員皆様のご協力をお願いいたします。

今年度の計画では、目標どおり女性会員の増員推進を進めて行きます。また、シルバー人材センターの業務遂行の一番目に位置付けている「安全就業」に関しましては、安全・適正就業推進委員会を中心に、抜打ち安全パトロールや安全講習会などを行い、事故防止と安全に対する意識の高揚を深めて参ります。

結びにあたり、本年が会員の皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう、心よりご祈念いたしました新年のあいさつとさせていただきます。

新年のごあいさつ



伊豆の国市長
山下 正行



あけましておめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年四月、大勢の皆様から温かいご支援を賜り市長として市政を担うこととなってから、早いもので八月が過ぎました。公平・公正で良識と品格のある市政を目指し、ふるさと伊豆の国市を住んで良かったと思えるまちにすることこそが私の責務であるという思いで日々励んでおります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

貴センターにおかれましては、会員のひとり一人の豊かな経験や知識を生かした就業機会の提供とともに、

草刈りや清掃の奉仕作業、交通安全啓発活動、竹細工体験教室の開催による青少年育成といった地域社会への貢献に深く敬意を表するとともに心より感謝を申し上げます。

人口減少や少子化・高齢化の進行により、地域の労働力が減少している中であって、シルバー人材センターが担う役割はますます重要となり、これからの地域づくりに欠かせない組織であります。

地域や時代のニーズに対応した取り組みを積極的に実施し、様々な分野においてご活躍されることを大いに期待しております。

市といたしましても、高齢者や障がいのある方が地域で安心して生活が続けられる、住みやすいまちにするために、公的な福祉サービスの充実とともに、地域の助け合いによる福祉「地域福祉」を推進し、人と人とのつながりを基本として、お互いを支え合う仕組みを構築し、市民・団体・地域行政等がそれぞれの役割

を担いながらお互いを合わせる協働の関係の創出に取り組んでまいります。

さて、この一月、いよいよ伊豆の国市の江間を本貫の地とする北条義時公を主人公としたNHK大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」の放送がスタートします。このまたとないチャンスを生かした様々な取り組みにより、多くの人たちにこの地域の歴史文化に触れていただき、ひいては新型コロナウイルスにより影響を受けてきた地域経済の活性化に繋げていきたいと考えています。

結びに、伊豆の国市シルバー人材センターの益々のご発展と、今年一年、会員の皆様が健康かつ平穏に良い年をお過ごしになられますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



委員会報告

就業開拓(開発)委員会

委員長 植松 隆治



ここ近年、派遣と請負との言葉が良く使われていると思います

すが、派遣とは、指揮命令系統が発注者側にあり、雇用関係も発生します。請負とは、ある一定の条件を受けその条件内で請負人の責任において契約を最後まで履行する。このような説明がよくされています。ここ数年、当センターの派遣割合は増加傾向にあります。

代表的な請負の仕事に「剪定・草刈り」がありますが、今年度も国の補助金を活用して、伊豆市シルバー人材センターと合同で剪定講習会を

十月に三日間、翌月に刈り払い機講習を開催し、技術習得に邁進しました。これからも会員の高齢化が進む中、剪定等の依頼が増える傾向にあり、このような技術習得が一層必要となつてきます。

こうした中であつて、女性の労働力はなくてはならない存在と考えます。子育て支援、介護補助、事務系等のスタッフが、これから一層必要となると考えられ、会員の皆様方には「一人一会員入会運動」の推進をよろしくお願い申し上げます。

安全・適正就業推進委員会

委員長 佐藤 善作



前年同様に新型コロナウイルスの影響により、種々の活動や行

事開催が制限される中、今年度から県シ連の委員会に合わせ安全・適正就業推進委員会となりました。事故

発生に關しまして、昨年九月末までの件数は車両二件、傷害一件といずれも重大事故に結びついていません。中でも剪定・草刈班では受託件数の減少もありますが、責任事故等の発生はありませんでした。こうした結果からも、会員の皆さんの安全就業意識の高まりを感じています。

また、車両事故に關しまして、前年度からの理事長・事務局長による大仁清掃センターでの注意喚起を継続して行っています。今後も運転者及び同乗者の「安全確認呼称」をよろしく願います。なお、今月二十日(木)に安全運転KYT(危険・予測・トレーニング)研修がありますので、ぜひご参加ください。

その他、昨年十月から十二月の三日間をかけ抜き打ち安全パトロールを実施し、十二月二日に安全・適正就業推進伊豆研修会に理事長外三名で参加しました。

また、適正就業に關しましては、

派遣会員の最低賃金が十月二日より九一三円に改正されましたが、請負・委任においても発注者様に対し働きかけをおこなっています。

普及啓発委員会

委員長 齊藤 和代



新年号の発行にあたり原稿依頼に協力して下さり、有り難う

ございました。

私達普及啓発委員会の活動として、昨年予定されていましたが全体奉仕作業や、ふれあい広場での県下一斉シルバー普及啓発Dayにつきましては、コロナ禍の状況から中止としました。地域の皆様とのふれ合いがなかなか出来ない状況となっています。今年シルバール人材センターの普及啓発に加え、皆様に分かりやすい情報を発信できるよう、又、ホームページにつきましても委員全員で確

認し、内容も適時更新してまいります。宜しく申し上げます。



行事に参加しましょう

蕪山地区 関森 伸哉



会員登録してから数年は事務局からの連絡による業務を行っ

て来ました。総会やその他の行事等の参加もしていませんでした。三年位前に、先輩より諸行事の参加と事務局の大変さを指導されました。それからは参加することにより色々な事が理解できるようになりました。

しかし、ここ二年以上、新型コロナウイルスの拡大等により、奉仕作業をはじめ諸行事全てが中止になり、会員の皆様の親睦機会が止まっています。今般大役をお受け致しま

したが、ほとんど解らず現在勉強中です。少しでも皆様のプラスになるよう活動していきますので、皆様の諸行事への参加をお願いします。

理事になって

大仁地区 古屋 裕子



シルバール人材センターに入会し、十八年あまりになります。

ここまで続けられたのも、職場の良き仲間にも恵まれ、支えられてきたおかげと感謝しております。

また、この度は理事として、普及啓発委員会に所属することになり、身の引き締まる思いです。不安と緊張で臨んだ理事会も回を重ねる度に、役員様方のシルバール人材センターに対する期待と熱い想いを伺い知ることができ、大変勉強になりました。

コロナ禍で、社会参加の機会が失なわれたことは残念ですが、今年に

望みをかけ、微力ながら一会員として各活動に取り組んで行く所存です。

私の思い

長岡地区 杉山 末吉



本年度より理事の末席を汚しておりましたが、よろしく願います。

します。私は長岡地区で草刈り、伐採等の外作業を主に行っています。特に夏は厳しいものがありますが、八十歳越えの先輩方も頑張っています。自分がその年までできるか不明ですが、今日を健康で働ける自分が幸せだと思っております。

もう一つの思いは楽しく仕事することです。本会は色々な経歴と能力の人が個人事業主として参画して成り立っています。従ってお互いある程度の能力差は補完し合い、自分のみならず他人も楽しく仕事ができるよう配慮できればと思います。

一月スタート 大河ドラマ『鎌倉殿の十三人』

北条家ゆかりの地を巡る義時コースのご案内

- ① 八坂神社** やさかじんじや 四日町の鎮守社で創建に関わる一説に、義時が男山から八幡神を遷座したという話が伝わっています。
- ② 北条義時館跡** ほつじょうよしときやかたあと 『増訂 豆州志稿』に、「南江間村町屋ニアリ尋常小学校ノ敷地トナル」と書いてあるので、この周辺に義時の館があったと推定されています。現在は江間公園として整備され、その一角に「北条義時館跡」の碑が建っています。
- ③ 北條寺** ほつじょうじ 義時が建立し、時政・政子も信仰したと言われる北条家とゆかりの深い寺です。阿弥陀如来坐像（県指定文化財）は慶派の作で、義時が造立したと伝えられています。境内には、北条義時夫妻の墓が建っています。夫人は、「伊賀の方」のことです。
- ④ 豆塚神社** まめつかじんじや 延喜式内社「石徳高神社」に該当する古い神社です。元文五年（一七四〇）の梁名に、「義時が小池丸山にあった社殿を現在の場所に移し再建した」と記されています。
- ⑤ 池田の大蛇伝説** いけだのだいじやでんせつ 江間いちご狩りセリター周辺はかつて池があり、義時の子安千代を襲った大蛇の伝説があります。
- ⑥ 大師窟** だいしくつ 大師窟とは七〇八世紀に作られた横穴墓（北江間横穴群大師山）のことです。後に義時がお経を納めたという伝説があります。
- ⑦ 珍場神社** ちんばじんじや 由緒書によれば、元久元年（一一〇四）に義時が安千代の死を嘆き、若宮八幡神として祀った社がはじまりと伝えられています。
- ⑧ 千葉寺** ちかはでら 千代田団地公園の山側、一段高いところに安千代が学んだ千葉寺という寺があったと言われています。かつては「寺洞」の地名が残っていたそうです。
- ⑨ 上の馬場** うへのばば 義時が乗馬の訓練を行っていたと伝わる一段高い丘があります。「院ノ馬場」とも呼ばれ、「院」は「江間」の転化かもしれません。



⑥ 大師山横穴



② 北条義時館跡



⑦ 珍場神社



北条義時の墓



③ 北条寺



⑧ 千葉寺跡



④ 豆塚神社



⑨ 上の馬場



⑤ 池田の大蛇伝説

年男・年女

年男



長岡地区 芹澤 善之

シルバー人材センターにお世話になってから、早六年に成ります。あつという間でした。今年は私にとつて、「年男」と言われる年になります。まだまだ若い、子供達には負けられないという気持ちでいましたが、年には勝てません。体の衰えの様子が目に見えてわかります。年男の意味は、昔から色々と言われていますが、良い事、悪い事これから後世に、若い人達に伝えられて行くことも必要かと思えます。今の時代は、人生百年と言われていきます。何事も自分から前向きに行動をする元気で、明るく、第一「健康」に気をつけて、「十二年後」の年男を迎えられるようにいこうと思えます。

出会いを求めて

葦山地区 杉山やよえ



シルバー人材センターに登録させて頂いて、早いもので七年に

なりました。二〇一四年十月から半年間、伊豆長岡駅前のアンテナショップ「反射炉屋」でPR・販売を行い、毎日来店してくださる常連さんでもき、楽しい就業となりました。その後、トマトの収穫作業と忙しい毎日でした。病に伏すこともあり少々しんどい時期もありましたが、お陰さまで現在は仕事仲間にも恵まれ元気に楽しくやっています。シルバー人材センターに登録していなければ知り合えなかった方々に出会えたことは、私にとつて何よりの財産になりました。いつまでできるか分かりませんが、自身で励みしながら、また職場の皆さんにも助けていただきながら、もう少し頑張ってみようと思っています。

大切な仲間

大仁地区 村山 東充



シルバー人材センター、(大仁清掃センター)にお世話になり、

最初はいつまで続くか不安でしたが先輩の方、仲間の皆さんのお陰で一年目を迎える事ができ、感謝しています。六名でのチーム作業は不具合がある場合は皆で協力して素早く修正し、無事に予定が出来た時には達成感があり、疲れもやわらぎまた頑張ろうと思える一瞬です。休み時間は仲間と、お互い身近な話から何でも話せる時間が楽しみです。いろいろな沢山の人の出会いは、今では金には代えがたい宝物です。家族、友人、職場の皆様と共に、いつまでも健康でいられますようにと思う毎日です。

令和3年度 会員数及び事業実績（上半期）

1 会員の登録状況（令和3年4月1日～令和3年9月30日）

（単位：人）

	前年度末 会員数	当年度 入会員数	当月度 退会員数	当年度 会員数	就業実人員	就業率
男	357	20	27	350	229	65.4%
女	174	0	17	157	114	72.6%
計	531	20	44	507	343	67.7%

2 年齢階層・性別人員

（単位：人）

	64歳 以下	65～ 69歳	70歳 以上	合 計
男	9	68	273	350
女	7	35	115	157
計	16	103	388	507

3 受託件数と履行期間別件数（単位：件）

公共・民間別実績件数 履行期間別受注件数

公共事業		455	10日未満	627
			10日以上 1ヶ月未満	38
民間事業	一般企業	479	1ヶ月以上 3ヶ月未満	54
	個人・家庭	592	3ヶ月以上 6ヶ月未満	11
	独自事業	1	6ヶ月以上	158
合 計		1,527	合 計	888

4 公共民間事業実績（令和3年4月1日～令和3年9月30日）

【請負・委任】

（単位：円）

区 分	配 分 金	材 料 費 等	事 務 費	合 計
公 共 事 業	50,270,001	3,126,215	2,637,357	56,033,573
一 般 企 業 等	29,571,648	768,697	2,923,589	33,263,934
個 人 ・ 家 庭	10,359,295	1,966,369	1,036,582	13,362,246
独 自 事 業	281,300	257,221	27,929	566,450
合 計	90,482,244	6,118,502	6,625,457	103,226,203
前 年 度 同 期	90,298,038	7,801,645	6,866,768	104,966,451

【派 遣】

（単位：円）

区 分	賃 金	手 数 料 等	合 計
派 遣	23,828,064	6,535,292	30,363,356
前 年 同 期	23,929,106	6,193,431	30,122,537

事務局からのお知らせ

■高齢者ドライバーのための動画
K(危険)Y(予測)T(トレーニング)
研修の開催

▼日時 令和4年1月20日(木)

① 午前10時30分～12時

② 午後13時30分～15時

▼会場 伊豆の国市役所

3階第1・第2会議室

▼対象者 日頃、自動車を運転する

65歳以上の方

▼定員 午前・午後 各10名ずつ

合計20名

▼申し込み 事務局まで(九四八九五六)

▼その他 当日は、マスクの着用を

お願いします。なお、コロナウ

イルス感染症の影響により、中

止となる場合があります。

■会員新年会の中止

年度当初1月14日(金)に計画して
おりました「会員新年会」につきま
して、コロナ禍の状況を踏まえ、今
年度も中止といたします。

「令和3年分のシルバー配分金の確定申告・住民税の申告について」

●収入が年金と配分金の方。

(65歳以上の方)	年金収入	-	110万円	=	A	(マイナスの場合は0)
	配分金	-	55万円	=	B	(マイナスの場合は0)
	A	+	B	=	C	
(65歳未満の方)	年金収入	-	60万円	=	A	(マイナスの場合は0)
	配分金	-	55万円	=	B	(マイナスの場合は0)
	A	+	B	=	C	

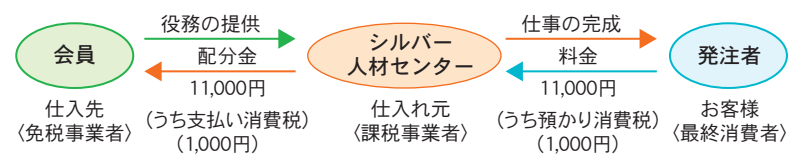
- ★Bが20万円を超える方、Cが38万円以上の方は住民税の申告又は確定申告が考えられますので、市役所税務課(055-948-2918)にご相談ください。
- ★申告会場は、伊豆の国市役所大仁支所(二階)において、令和4年2月16日(水)～3月15日(火)の間に行われます。

シルバー人材センターにおけるインボイス制度について

▶現行

○取引相手が課税事業者か免税事業者かに関わらず、全ての取引において「仕入税額控除」が認められており、センターは、会員に支払う配分金に関して消費税納税の必要がない。

(預かり消費税1,000円-支払消費税1,000円(仕入税額控除)=納税額0円)



▶インボイス制度が導入されると(2023年10月～)

○インボイスを介在した取引のみ「仕入税額控除」が認められる。免税事業者であるセンター会員はインボイスを発行できない。このため、センターは、新たに預かり消費税分1,000円を納税する必要が生じる。

(預かり消費税1,000円-0円(仕入税額控除)=納税額1,000円)

編集後記

女性六名の委員会です。

コロナ禍で委員会の日程が何回もできなくなったりしましたが、皆様のご協力で無事発行する事が出来ました。会員の皆様が元気で仕事を続けられるような会報作りをとっております。(齊藤)